

泉佐野市地域福祉計画 関係団体ヒアリング調査の概要

【日 時】平成17年（2005年）2月17日（木） 午後2時～午後4時

【出席団体名】たんぽぽの会、フクシライフ、泉佐野子育て支援センターひまわり保育所、おおさか若者就労支援機構、オークパーキングユニオン、いきいきクラブ、泉佐野地球交流協会、ゆまにて、さこうクラブ、りんかい福祉（以上 特定非営利活動法人）、泉佐野子ども家庭サポーター協議会、保育サポーター グー・チョキ・パー、三枝会（精神障害者家族会）、泉佐野市老人介護者（家族）の会、（順不同）

活動内容と活動上の問題点

保育サポーター グー・チョキ・パー

- 泉佐野・熊取・泉南で、保護者に用事ができた時に子どもの保育園への送り迎えなど子育てに関する支援
- 活動上の問題点は、参加者が少ないこと

泉佐野子ども家庭サポーター協議会

- 子どもの虐待防止アドバイザー養成講座の修了生で昨年11月結成。育児不安で悩む母親などの相談に応じる
- 問題は、自費による活動であること

特定非営利活動法人 おおさか若者就労支援機構

- 若年者の就労支援を大阪府下全域で活動。アメリカ村でのアンケート調査実施や就労支援フェアに参加
- 若者が就く仕事が少ないという現状が問題

特定非営利活動法人 フクシライフ

- 介護保険対象外の人を対象になんでも相談や、街かどデイサービス、介護保険適用外の生活のお手伝い（草むしりや、犬の散歩など）など。現在、高齢者、障害者の移送問題に取り組んでいる

特定非営利活動法人 たんぽぽの会

- グループホームなどの介護保険事業で収益をあげ、介護保険対象外の人に対してもきめ細やかな対応ができるように、その収益を有償ボランティアの活動にあてている

特定非営利活動法人 さこうクラブ

- 泉佐野工業高等学校とタイアップして、染物、ステンドグラス作りやパソコンの講習会などを行う
- 問題点は、事業を展開すればするほどお金がかかること

三枝会（精神障害者家族会）

- 精神障害者の家族会として月1回集まる。泉州地域8つの市町村で作る連絡会は2ヶ月に1回会合を実施
- 家族の悩みを話し合ったり、当事者に関係した連絡事項などが中心。今年から、家族相談会を開催する予定
- 問題点は、家族の高齢化

特定非営利活動法人 オークパーキングユニオン

- 地域住民に対して、路上駐車をなくす運動を中心に活動。プランターをおくなど美しいまちづくりも提唱
- 問題点は、路上駐車がなくなること

特定非営利活動法人 いきいきクラブ

- 老人センター長寿園で、高齢者対象に引きこもり防止のための講座やクラブ活動と配食サービスも実施
- 問題点は、引きこもりがちな高齢者を、どのように活動の中へ入れていくか

特定非営利活動法人 泉佐野地球交流協会

- 市内に在住する外国人と交流、連帯するために、日本語教室や暮らしに必要な手続きの書類など実用的な翻訳事業、国際結婚している人たちへの子育て支援として日本人も含めた子育てサークルを実施

特定非営利活動法人 りんかい福祉

- 1月に設立したばかりで、3月から訪問介護事業を開始予定
- 子育て支援や高齢者、外国人との交流など、行政の手が届きにくいところへの支援を行いたい

特定非営利活動法人 泉佐野子育て支援センターひまわり保育所

- 乳幼児を専門に預かる。定員（20名）をオーバーしなければ、いつでも入れる家庭的な保育所を実施
- 月に1回、地域の乳幼児を対象に遊び会を実施

特定非営利活動法人 ゆまにて

- “メダカとドジョウが住める100年の未来を見据えたまちづくり”をテーマに活動。川の清掃や子どもが自然とふれあう機会を作るために一緒に池を掘るなどしている

泉佐野市老人介護者（家族）の会

- 高齢者の病人を抱える家族の会。設立して15年で、困ったときの対応など情報交換を行っている
- 問題点は、当事者は活動に参加する時間を作ることが難しいことや、介護にかかわる人の高齢化

地域とのかかわりについて

- 夜警などで青年団のメンバーが路上駐車防止活動に協力
- 他の団体と協力して地域で催しをするなど、地域の人に活動を知ってもらう機会を増やしたい
- 今後は、地域の人や行政と団体がどうかかわって、連携していくかが大切になってくる
- 活動場所などで、地域の協力があると活動の幅が広がる
- 行政が市民の連携を促すような取組も必要。地域の人に活動を認知・理解してもらうことで協力体制も整う
- 自治会とのよい関係を築くことで活動が円滑にすすむ
- 町会長を理事に入ってもらうなどで連携体制をとっている
- 地域の人に活動を理解してもらうことから始める必要がある
- 多くの人に活動の内容を知ってもらいたい
- 団体・グループ同士の意見交換の場があるとよい
- 地道に実績を作れば活動の輪は広がるので「志」を持って続けることが大切

今後の活動について

- グループホームで地域の人に働いてもらい、高齢者との交流も増えた。熱意は必ず伝わると信じて続けたい
- 市内で団体・グループのネットワークが広がっていくのは楽しみでもあり、今後も協力して活動したい
- 当事者同士が話をする事で、気持ちが楽になる。病人の介護を一人で抱え込まず参加してほしい
- 事務処理などのノウハウを支援するようなNPOのサポートセンターがあればよい
- NPOの活動を広報してほしい
- 活動分野ごとの専門家も交えた会合の開催と併せて、さまざま分野の人が情報交換する場があればよい
- 保護者を対象に子育てのアドバイスもしていきたい
- 人に関わる仕事に誇りをもち、続けていきたい
- 日常の困りごとに対応できるように地域のニーズを汲み取って活動をしていきたい
- より多くの人に活動を知ってもらい、高齢者の方が気軽に参加しやすいようにしていきたい
- 路上駐車による危険や、障害となって緊急時に消防車や救急車の通行の妨げになることを広く知ってほしい
- 会員を増やし、引きこもりなどの問題にも取り組んでいきたい

- NPOの活動を9チャンネルで放送するなど、多くの市民に活動の内容を知ってほしい
- 若者の就労に関して、行政との連携や協力もしながら幅広く取組を行いたい
- 将来的には家庭訪問による子育ての支援もしたい
- 次世代育成支援行動計画で予定されるファミリーサポートセンターなどに協力していきたい
- 地域にかかわる人たちが集まって、話し合うことで地域の活性化につなげたい
- 地域の人同士の交流やふれあいのあるまちにしたい
- 給食作りや配食などで、高齢者が働く場として受け皿になりたい